

令和元年度第3回千葉県図書館協議会議事録（要録）

- 1 日 時 令和2年3月18日（水）  
午後2時00分から午後3時15分まで
- 2 場 所 千葉県文化会館 第3会議室
- 3 出席者 (委 員) 大久保 一 塚田 高一郎  
小泉 卓史 小野 日実子  
佐藤 宗子 竹内 比呂也  
高石 卓
- 中央図書館長 榎本 隆二  
西部図書館長 高橋 正名  
東部図書館長 鎌形 佐知夫  
他9名  
(生涯学習課) 田中 憲生 (生涯学習課主幹兼室長)  
俵 大樹 (生涯学習課社会教育班主査)

4 議 事

- (1) 千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）の策定について（報告）  
(2) 千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）に基づく子どもの読書活動推進センター事業計画（案）について（協議）  
(3) 令和2年度県立図書館事業計画（案）について（協議）  
(4) その他

5 その他

会議開会宣言の後、図書館協議会会議運営規則第6条の規定に基づく会議成立の確認がなされた。

<会議録>

議長 それでは、「議事」に入らせていただきます。

本日は、議事が2件となっています。

初めに、(1)「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」の策定について、生涯学習課から報告願います。

生涯学習課 <生涯学習課報告>

議長 ただ今の報告について、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。

委員 この計画の目標達成のための特別な予算措置はされたのでしょうか。

生涯学習課 特別な予算措置はございませんが、リーフレット作成の予算は取れました。

議長 そのリーフレットは市町村に配られるのでしょうか。

生涯学習課 はい、配る予定です。

議長 他にございますか。

委員 14ページにいろいろな数値目標が出されています。

こういったことをすると、やはり数値目標を設定しなければならないのだろうが、例えばビブリオバトルを何回やりましたとか、形式的な数値だけで評価するのは怖いことです。ビブリオバトル自体はプレゼン能力に関わることであって、読書の質とは直接関係しない。

本当に生涯を通じて読書に親しむということを目標とするならば、何かイベントをやったというのではなく、本来の読書活動の推進に合わせた形で数値目標の設定・評価といったことを考えていただけたらと思います。

生涯学習課 委員のお話のとおりです。ビブリオバトルについては、主には中高生の読書への関心を高めるきっかけとして考えています。様々な理由が含まれていますので、高校生の生の声を聞きながら、読書活動の推進を考えていきます。

議長 ビブリオバトル大会について、ご説明いただけますか。

生涯学習課 出場者のおすすめの本を持ち寄って、5分間のプレゼンをします。それを見ている人たちが、一番読みたいチャンプ本を決めるといった大会です。

委員 私の大学の学生が日本一になったが、そこで高い評価を得るのは聴衆が聞いたことがない珍しい本が選ばれる傾向がある。ですから、その場で選

ばれたとしても、果たしてその後どれだけの人が手に取って読んでくれたかはわからない。

委員 私の学校でも中学1・2年のクラスごとでビブリオバトルを行っている。

当初は人が死んでしまうゲームのようなものばかりであったが、最近は古典的な文学や学生が読みたくなるような本を選ぶようになってきた。

低学年では、読書のきっかけになっているように思う。

議長他に何かありますか。

委員 このビブリオバトルは上位大会に繋がるものでしょうか。

生涯学習課 はい、全国大会に繋がっていきます。

委員 今年の夏に図書館部会で説明いただいたが、上位大会との関りを整理して早く情報を提供してほしい。

ビブリオ大会については、先に発言された委員のお話のとおりと思うが、高校（図書館部会）では何より学校図書館へ足を運んでもらいたい。そのために部会の方々が地区ごとに研修を実施し、簡略化したビブリオバトルの活動を行っている。

議長他にご意見等ございますか。

それでは、今後も進捗状況など報告くださるようお願いいたします。

では次に進みます。

（2）千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）に基づく子どもの読書活動推進センター事業計画（案）について、事務局から説明願います。

事務局 <事務局説明>

新型コロナウイルスに関する県立図書館の運営状況について、説明を行った後、議題説明を行う。

議長ただ今の説明について、ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。

委員 児童用郷土資料リストは、実際今のところ何人位で何をやった方を載せているのか？

事務局 伊能忠敬など本になっているものから始めているが、現在はまだ、本のお薦めリストに留まっているところです。

以前にも「千葉県の民話」をリスト化してまとめましたが、今回もそのような形を考えており、本の中の一部に取り上げられているようなものでも、子どもが参考にできるように修正していきたいと考えています。

委員 「偉人」という言葉を昔のようにとらえてしまうことは、多少気になる  
ところでは。最近では「何をやると偉くなるの？」と偉人の基準を問われて  
しまう。ジェンダーバランスも含めて、どういうことをやった人なのかを  
紹介し、昔のイメージである「偉人」は括弧付きにした方がいいのではな  
いか。

議長 他に何かございますか。

委員 (資料1-(2)ウ) 地域文庫・家庭文庫について、どのような案内をする  
ことをイメージされているか伺いたい。

事務局 地域文庫・家庭文庫につきましては、市町村の図書館の方が把握されて  
いるようなので、その情報を集約して最終的にはホームページで公表でき  
ればよい。しかし、家庭文庫については個人情報等を考慮しながら今後検討  
していきたい。

議長 ただ今の説明でよろしいでしょうか。

委員 検討段階であるということで、理解しました。

議長 他に何かございますか。無いようでしたら、次に進みます。

(3) 令和2年度県立図書館事業計画(案)について、事務局から説明願  
います。

事務局 <事務局説明>

議長 ただ今の説明について、ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。

委員 コロナウイルスの影響で研修会や講座ができなくなっており、先が見え  
ない状況である。

また、このようなことが今後も起きないとは言えないのだから、その時  
のためにも聴衆がいなくても録画で対応するなど、すべてを延期・中止す  
るのではなく、そうした方法も用意しておくことも必要ではないだろう  
か。

大震災から10年もしないでこのようなことが起きている。学校などはこ  
のような場合のノウハウができていますので、せっかく用意した講座が活か  
されるような対応をお考えになったらどうか。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。

そうした点を踏まえて、研修・講座が無駄にならないように、その場にい  
なくても受講できるよう検討してまいります。

委員 宅配連携校についてですが、この宅配というのはどういうことになりま  
すでしょうか。

事務局 これについては、3、4ページに一覧を出しています。

ニーズのあった県立高校に対して、中央図書館では宅配によって本を届け、西部図書館では、主に車が巡回して行い、賄いきれないところを宅配で届けるといったことを実施しています。東部図書館については、エリア内27校に協力車で届けています。

委員 質問の意図としては、現在、どこの学校も学校図書館を活用した授業に関心があるが、そうした際には大量の資料が必要になってくる。県立・市立の図書館との連携もあるが、この宅配連携を活用できれば費用も掛からず、学校間でも資料を融通し合える。そうした面でも御支援いただければと思う。

事務局 東部図書館では、エリアが限られており、県立高校全てを協力車が巡回しているので、そうした要請にも応えられるが、県下全てについてということになると、今後の検討に入っていくことになります。

委員 流通を盛んにしていただくと、授業についても学校間でのやり取りや情報交換につながり、ひいては新学習要領の効果的な実施となっていく。今の東部図書館の形態を全県レベルで広げていってくれたらうれしい。

事務局 検討させていただきます。

議長 それではその他ですが、「新県立図書館等複合施設整備事業」について報告願います。

生涯学習課 <「新県立図書館等複合施設整備事業」について報告>

議長 ただ今の説明について、ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。無いようでしたら、ほかの資料について、中央、西部、東部の順に説明をお願いします。

事務局 <事務局説明>

議長 それでは、以上で終了いたします。